

地域脱炭素に向けた取組み・ご支援策

2025年3月17日
東京海上日動火災保険株式会社



東京海上日動



次の一步の力になる。

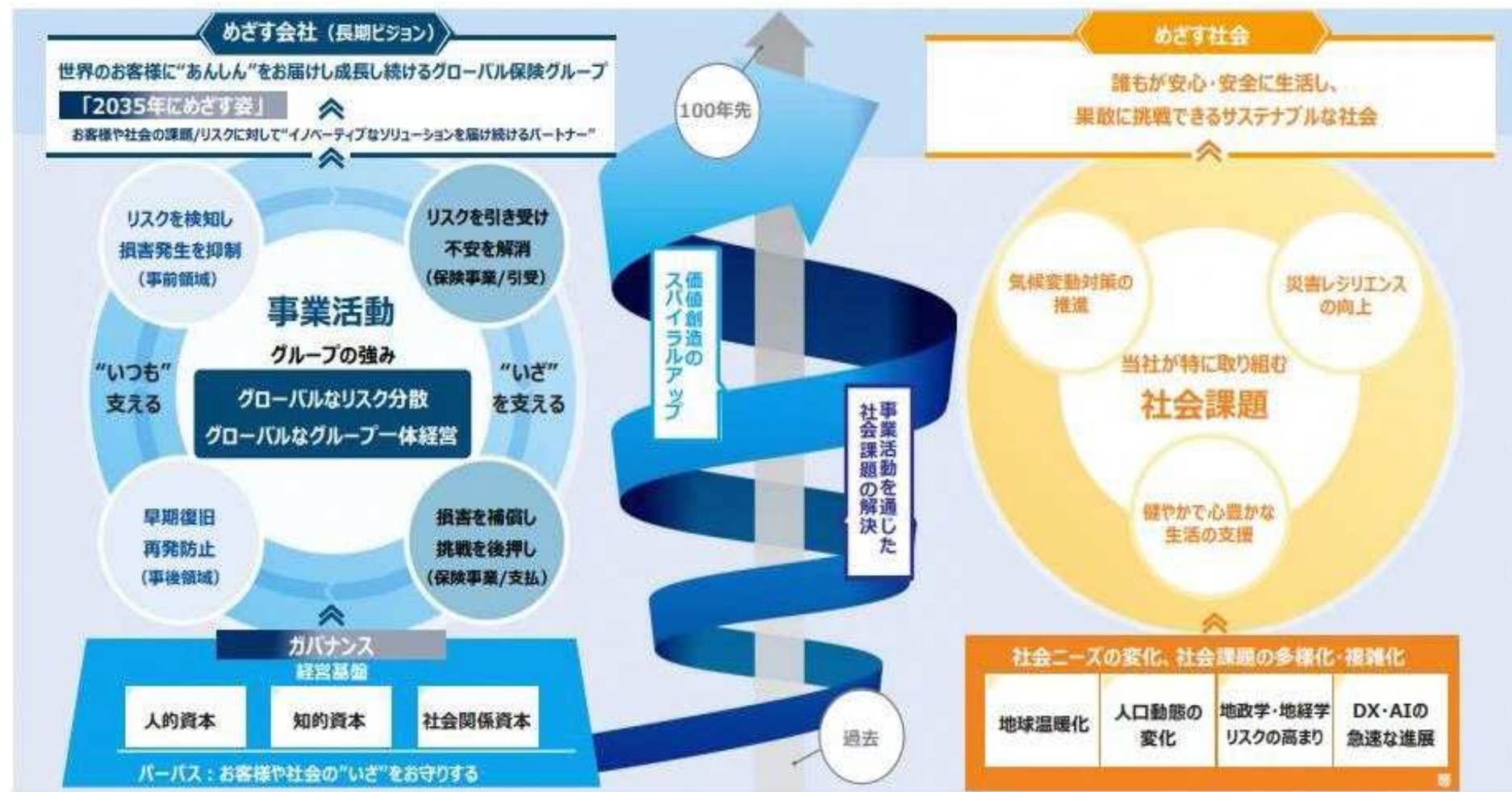
アジェンダ

1. 弊社のGX取組み全体像
2. 地域脱炭素に向けた弊社ご支援策ご紹介

当社のGX取組み全体像

サステナブルな社会に繋がるパーパスストーリー

- 「お客様や社会の“いざ”をお守りすること」をパーパスに、多様化・複雑化する社会課題を解決し、安心・安全な世界創りに貢献することで、100年先も成長し続ける社会・会社を目指します。



東京海上グループの重点領域（マテリアリティ）

- ステークホルダーや専門家、外部有識者からの助言を参考に、パーパスに基づく東京海上グループの重点領域（マテリアリティ）として8つの領域を特定しました。



気候変動対策の推進

- ・ 投資先・保険引受企業等とのエンゲージメント
- ・ 再生可能エネルギー関連の保険商品・サービスの開発・提供



災害レジリエンスの向上

- ・ 防災・減災害サービスの開発・提供
- ・ 自治体・企業のBCP策定支援



健やかで心豊かな生活の支援

- ・ 健康経営支援サービスの更なる普及・促進



人と多様性の尊重

- ・ 多様性の確保や人権尊重の取組み



イノベティブなソリューションの提供

- ・ デジタルやデータの活用
- ・ 保険事業とソリューション事業の双方で価値提供領域を拡大



自然の豊かさを守る

- ・ 「Green Gift」プロジェクト
- ・ マングローブ植林や海を守る活動による生物多様性の保全とカーボンニュートラルの達成



未来世代の育成支援

- ・ 教育プログラム（みどりの授業、ぼうさい授業）
- ・ 未来世代の意見を経営に反映させる仕組みの構築



誠実かつ透明性の高いガバナンス

- ・ 業務品質の向上や内部統制の強化
- ・ 適時適切かつ透明性の高い情報開示（TCFDレポート等）

【東京海上グループの情報開示】環境領域にかかる各種レポートの発行

- 弊社グループではTCFDレポート・TNFDレポート・サステナビリティレポートを発行し、様々な取組の情報開示しております。

TCFDレポート (2024.6)

[リンク](#)



TCFDフレームワークに基づく気候変動にかかる情報開示。お客様のカーボンニュートラル実現・脱炭素社会への移行を支援し、産業の成長・発展に向けた取り組みを掲載。なお、東京海上グループは日本で唯一TCFD提言の策定に携わった企業。

TNFDレポート (2024.3)

[リンク](#)



TNFDフレームワークに基づく自然資本にかかる情報開示。マングローブ植林といった昔からの自社取組だけでなく、自然資本にかかるグループとしての依存と影響の明確にし、ネイチャーポジティブ実現に向けた目標や戦略を掲載。

サステナビリティレポート (2024.9)

[リンク](#)



東京海上グループのサステナビリティ取り組みを網羅的に紹介（本編＋詳細編）。マテリアリティを軸としながら、東京海上グループの成長および社会や未来世代へのポジティブインパクト創出のための多様な取組をストーリーを持って掲載。

気候変動・生物多様性に関わる取組み

- グリーン・トランスフォーメーション（G X）タスクフォースを設置し、お客様のカーボンニュートラル・生物多様性に関する取組みもトータル実現に貢献する取組みを推進しています。

気候変動対策の推進

G Xタスクフォース

お客様のカーボンニュートラル実現・脱炭素社会への移行に向けた取組みを支援し、産業の成長・発展に貢献することを目指し、全社横断のG Xタスクフォースを2021年2月に設置



自然の豊かさを守る

マングローブ植林・アマモ場の保全

1999年から「地球の未来にかける保険」をコンセプトに、マングローブの植林プロジェクトを展開し、12,261ヘクタールを植林（2023年3月末累計）
2022年には、地球環境を守る取組みとしてアマモ場の保全活動を開始



マングローブ植林活動

アマモ場の再生

誠実かつ透明性の高いガバナンス

気候変動に対する 当社の基本的な考え方

お客様との対話（エンゲージメント）を通じた脱炭素社会への貢献のため、2030年までに、保険引受に伴うGHG排出量の約9割を占める大口顧客「200社」と対話し、「160社」以上との対話水準を下記のレベル②以上とすることを目指します

- レベル①：課題把握
- レベル②：課題認識をふまえた提案
- レベル③：保険引受・ソリューションの提供

弊社GX取組領域

- お客様に対するエンゲージメントを起点に、お客様が展開する“グリーンビジネスの促進”、“カーボンニュートラル経営・地域脱炭素における課題解決”により、お客様と当社の成長、社会全体のカーボンニュートラルへの貢献を目指します。

“サステナブル社会への貢献”と“お客様と当社の持続的な成長”を実現するエコシステムの構築

グリーンビジネス促進

＜主なお客様＞

再生可能エネルギーやクリーン燃料に関連する事業者

＜弊社貢献領域＞

保険やリスクアドバイザリーサービスの開発・提供を通じて、グリーンエネルギーの安定供給等を支援（主にエネルギーの供給サイド）

太陽光

洋上風力

陸上風力

CCUS

カーボン
クレジット

エンゲージメント
起点の価値提供

カーボンニュートラル支援

＜主なお客様、連携先＞

大企業、中堅・中小企業、金融機関
自治体、商工団体、地域有力企業、自動車ディーラー等

＜弊社貢献領域＞

保険に留まらない“ソリューション”の開発・提供を通じて、企業や地域のカーボンニュートラル経営戦略/政策の策定・実行を支援（主にエネルギーの需要サイド）

TCFD
開示支援

サステナ・ESG
経営支援
コンサル

GHG排出量
算定支援

再エネ導入・
カーボンクレジット
購入支援

グリーンビジネス促進

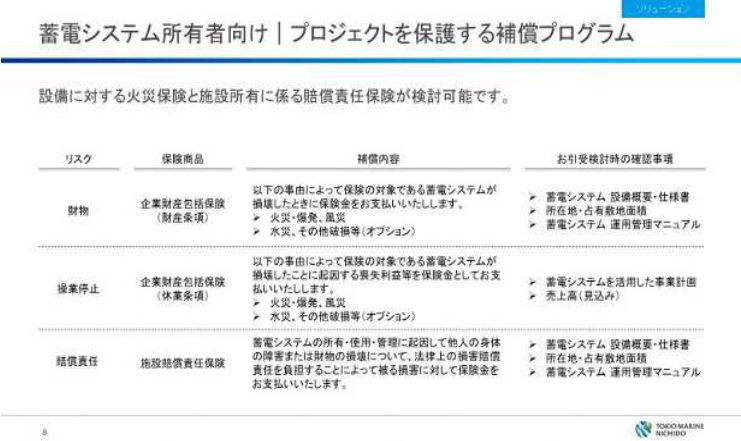
- 再エネ・グリーンエネルギープロジェクトの事業者に対して、リスク評価・保険引受を通じてグリーンビジネス促進に貢献します。また、新技術や環境価値等の新たな領域のリスクに関する知見を高め、保険商品開発に取り組んでいます。

再生可能エネルギー事業における リスク評価・保険引受



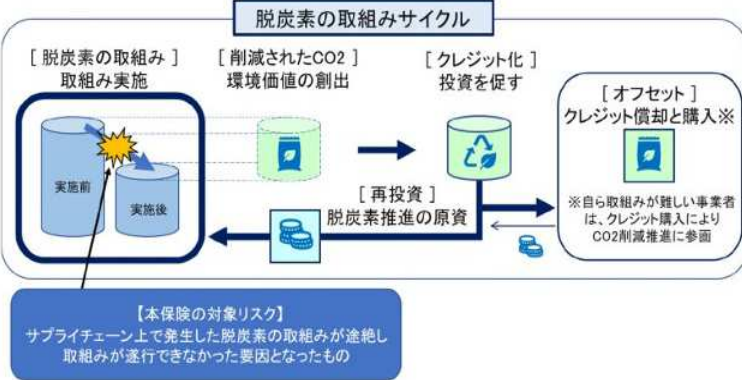
- ✓ 洋上風力発電を建設フェーズから操業フェーズまでトータルサポート
- ✓ 太陽光PPA事業者向けパッケージ保険
- ✓ 再生可能エネルギー発電施設の自然災害リスク評価
- ✓ 請負業者・部品サプライヤーの発注者に対する契約上の瑕疵保証責任を補償

新技術・新ビジネスの進展に伴う リスクソリューション開発



- ✓ 大型蓄電システム（蓄電所）の普及に向けたオーナー向け保険の引受
- ✓ 水素活用の促進、CCS・CCUS等新技術の確立に資する保険商品の研究・開発
- ✓ 上記以外オーダーメイドによる保険設計

環境価値棄損を補償する 保険商品開発・引受



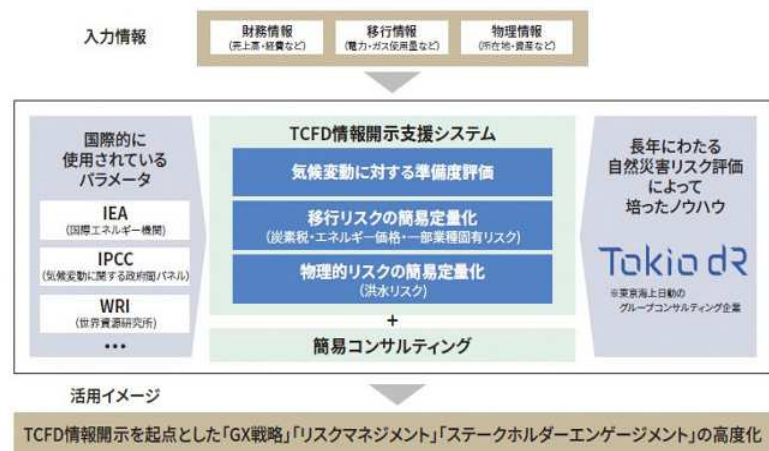
- ✓ 脱炭素サプライチェーン途絶対応保険の開発
- ✓ サークュラーエコノミーを促進する保険商品開発
- ✓ カーボンクレジットに係る保険商品開発

カーボンニュートラル支援

- エンゲージメントを起点としてお客様のG X領域の経営課題を把握し、保険・ソリューションによる課題解決・カーボンニュートラル実現に貢献します。

上場企業向け

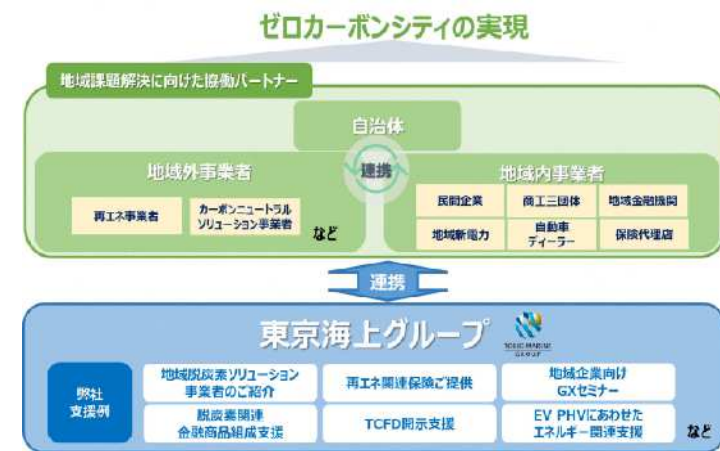
TCFD開示支援 (コンサルティング、システムサービス)



- ✓ 三菱UFJ銀行との共同コンサルティング
- ✓ 当社開発システムを活用したTCFDシナリオ分析
- ✓ 移行戦略策定支援

地域・中小企業向け

地域脱炭素・中小企業脱炭素経営支援



- ✓ 中小企業の脱炭素経営支援
- ✓ 環境省事業への共同提案
- ✓ 再エネ導入に関するリスクマネジメント支援

グループ会社・パートナー企業との脱炭素ソリューション提供

サプライチェーン情報を一元管理して、国内・海外の取引先の影響を「早く発見」

サプライチェーン情報の可視化

サプライチェーンの情報をツリーやマップ形式で可視化
納期、拠点の最新ステータスをSC Viewerに表示
(被災可能性→確認中→影響あり→正常)



重要度と、復旧見込に応じて優先順位をつけてアクションできます

自然災害アラート

国内・海外で発生した自然災害を取引先の住所にマッチングして、メールやプッシュ通知でアラート

- ・ 国内 (震度5弱以上の地震、気象特別警報)
- ・ 海外 (地震、洪水、強風)



取引先拠点のマップに、国内・海外の自然災害情報を重ねます

- ✓ GHG排出量算定サービス
- ✓ 太陽光発電設備導入
- ✓ カーボンクレジット提供
- ✓ サプライチェーンコミュニケーションサービス



東京海上グループ丸となって、“GX”に
挑戦する地域や企業を支援し、社会課
題を解決してまいります。

＜東京海上日動 GX特設サイト＞

<https://www.tokiomarinenichido.co.jp/company/gx/>



東京海上日動



Green
Transformation

次の一步の力になる。